二部構成の研修会

物流経営士合同勉強会

【中部】物流経営士合同勉強会（阿部光記代表幹事、サンコー、栃木県日光市）は15日、流通システム中部（大島五純一氏が「働き方改革の推進」、第二部を稲沢運輸（愛知県海部郡飛島村）代表の竹市五輪氏が「女性目線での働き方改革と女性部会活動について」とのテーマでそれぞれ講演をおこなった。

研修会を実施。二部構成で設けられたプログラムでは第一部を中田商事（三重県伊賀市）代表の中田自身の講演において中田氏は、自社のこれまでを振り返りながら要所で取り入れてきた「デジタコ全車導入」「時給制への移行」といった数々の社内改革を紹介してそれらがもたらした前向きな変化に言及。データを活用した独自の理論に基づく自社の動向を丁寧に解説し、将来を見据えるための新しい感覚やアイデアの取り入れに積極的な自身の姿勢にも触れた。

中田氏

続いて講演に臨んだ竹市氏は女性として苦労を重ねたかつての経験を踏まえた上で、「男でなければならない」という考えから「女性ならではの強みがある」との意識の転換で築き上げていった「ブランディング戦略」を紹介。自社における強みは何かといった価値の抽出から「愛をのせて走る」というキャッチフレーズに加え、それらをベースとしたロゴの設定および名刺の改訂、さらに各メディアを通しての広報展開に至るまでを同氏ならではの言葉で力強く発信し、今後に向けたさらなるチャレンジにも意欲を示した。

竹市氏

またそれぞれの講演後には参加者らが二班に分かれてのグループディスカッションが行われ、各グループ代表者との質疑には中田氏、竹市氏の両名が真摯な対応でこれに回答。会場は終始、熱気にあふれて目の前の講義に集中する参加者らの姿が印象的で、中田氏はその点について「参加した全員が『学ぼう』という姿勢で臨んでいることが大きい」と評価した。

同会は今後も継続した活動を予定しており、来年の6月には中田商事が、そのホスト役を務める。

（朝妻聖二）